

神奈川県は共生社会の実現をスポーツから発信します

100周年目のデフリンピックは共生社会の縮図です。ここがゴールではなく新たなスタート。次の100年に向けて社会をどのようにデザインしていくか「共に生きる」真の意味を私たちと一緒に考えていきませんか？



いつの時代も真っ向勝負は人の心を震わせます。デフリンピックは静寂の中で繰り広げられる世界最高峰のスポーツの闘いです。神奈川を代表して世界に挑む私たちを見届けてください。関心を持つことそれが力に!



神奈川県のデフリンピックの取組

デフリンピックを もっともっと楽しむ方法

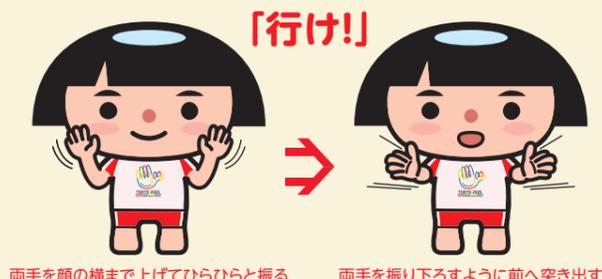
選手と“目”が合う!?

デフリンピックの出場選手は視野が広く、応援の様子もしっかり見えています。選手は応援してくれる人の姿を見て、「頑張ろう!」というエネルギーを得ています。観客と選手と一緒に戦える、そこがデフリンピックの魅力の一つでもあります。選手と目が合いやすいのもデフリンピックならではの選手名入りのうちわやタオルを持ってぜひ応援に行きましょう!



「サインエール」で選手を応援しよう!

サインエールは、きこえる・きこえないにかかわらず、全ての人がデフアスリートに想いを届けられる新たな応援スタイルで、日本の手話言語をベースに創られました。夢の舞台で戦うデフアスリートへ、“目でみる応援”を届けましょう!



※いずれも日本語手話を意味するものではありません。



東京2025デフリンピック応援隊 (2025.5月時点)

- ①かながわキンタロウ(神奈川県)
- ②ふじキュン♡(藤沢市)
- ③もりりん(秦野市)
- ④あいちゃん(愛川町)
- ⑤ヤマトン(大和市)
- ⑥あゆコロちゃん(厚木市)
- ⑦あじさいちゃん(開成町)
- ⑧なかまる(中井町)
- ⑨すいっぴー(大井町)
- ⑩よいしよの金太郎(南足柄市)
- ⑪さがみん(相模原市)
- ⑫いそべえ ⑬あおみ(大磯町)

手話言語で表現! 「デフリンピック」

デフリンピックを主催する国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)で使われている手話表現です。写真のように両手2指で輪をつくり、輪を向かい合わせるようにして交互に2回つけます。



ICSD(国際ろう者スポーツ委員会)の公式ロゴマーク



ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

出典:一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会 「デフリンピックろう者のオリンピック」2021年
写真提供:一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック運営委員会



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

第25回 夏季デフリンピック 競技大会 東京2025

11/15^土
~26^水

スポーツでつながろう!

神奈川から応援しよう!



神奈川県



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

神奈川県ゆかりのアスリート
(令和7年5月31日時点内定者)から
デフリンピックに向けての意気込みや
自身の競技の見どころを伺いました。

佐藤湊



メダルと自己ベストを
目指します!

リレーは盛り上がる種目です!
混合、女子4×400mリレーで
メダル獲得に貢献したい。

勇気や感動を与えられるように
頑張ってください!

川口功人



恐らく最年長選手ですが、
体力だけでなく技術が重要な競技であり、
少しでも上位に食い込めるよう挑みます。

熱い闘志、美しい手話戦術、
アイコンタクトで繋がる心、
心に響く真剣なプレーの数々

木村修



射撃の競技人口が少ないので、
皆さんに知ってもらえるように頑張ります。

荒谷太智



川口穂菜美



島倉杏奈



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック大会エンブレム

デフリンピック 日本初開催!!

2025年11月15日(土)~11月26日(水)の期間中、
主に都内のほか、静岡県・福島県にて競技が行われます。

競技ルールはオリンピックとほぼ同じですが、
きこえない・きこえにくい選手が、
目で見てわかるよう工夫されているのが
デフリンピックの特徴です。

メダル獲得、
そしていろんな方々に
デフリンピックを
知ってもらえるように
頑張ります。

江島由高



サインやアイコンタクト等で
多彩なコンビプレーを展開します。

永田英司



濱谷秀平



一緒に
デフリンピックを
盛り上げましょう!

邪念を払って
一発・一発集中するのみ!

桂玲子



山本将隆



攻めのテニスで
メダルを目指します。

宮川楓雅



宮川百合亜



平岡早百合

高濱彩佑生

中田美緒

長谷山優美



バレーボール

「きこえない・きこえにくい」とはどういうこと?

耳が聞こえない、聞こえにくい人を聴覚障がい者といいます。
耳の聞こえにくさは、人によって、まちまちです。
少し聞こえる人もいれば、ほとんど聞こえない人もいます。
手話を使う人もいれば、手話を使わずに
筆談(紙などに文章を書いて内容を伝えるコミュニケーション)する人もいれば、
補聴器や人工内耳を使って音声でコミュニケーションをとる人もいます。
このように耳が聞こえない、聞こえにくい人の中でも、
毎日使うことばやコミュニケーション方法はまちまちですので、
その人が使いやすい方法でコミュニケーションをとってください。

出典: 県地域福祉課作成 手話学習用冊子
「手話を学んでみよう」(子ども向け)

詳しく知りたい方はこちらから➡



デフスポーツの「目で見てわかる」工夫、

「耳」がきこえなくても「目」でわかる方法とは?



スタートの合図など、「音」の代わりに「目」で見えるように合図を送ります。
デフリンピックのルールは、ほぼオリンピックと同じですが、スタートの合図は音ではありません。
では、どのようにきこえない人たちに伝えるのでしょうか?デフリンピックでは、「耳」がきこえなく
ても、参加者が不利にならないよう「目」でわかる様々な工夫がされています。目でおぎなうことを
「視覚保障」と言います。例えば、100メートル走のスタートの出発音。ピカッと光る「スタートランプ」
でスタートを知らせます。
他にもサッカーなど、審判の笛の合図がある競技は、審判は笛を鳴らすとともに、旗をあげたり手を
あげたりして選手に知らせます。選手が「目」でわかるように、様々な工夫が整えられています。

参考: 一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会ホームページ



サッカー競技は
旗を使用



空手競技では
ランプを設置



陸上競技の
スタートランプ

神奈川県ゆかりの
選手の出演動画



陸上など全21競技の
詳細はこちらから

